



No.383 令和3年3月30日

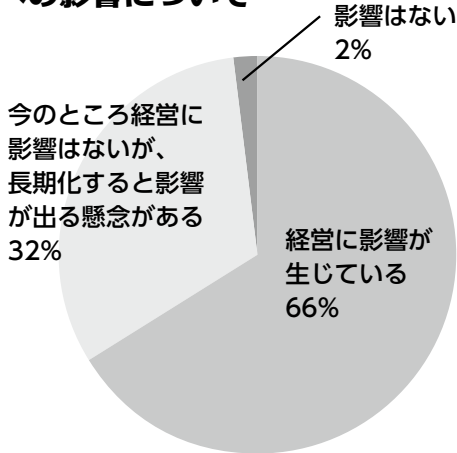
おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 舟久保利明
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com/
印刷所
東京都大田区下丸子2-24-26
電話(3758)7788
光写真印刷株式会社

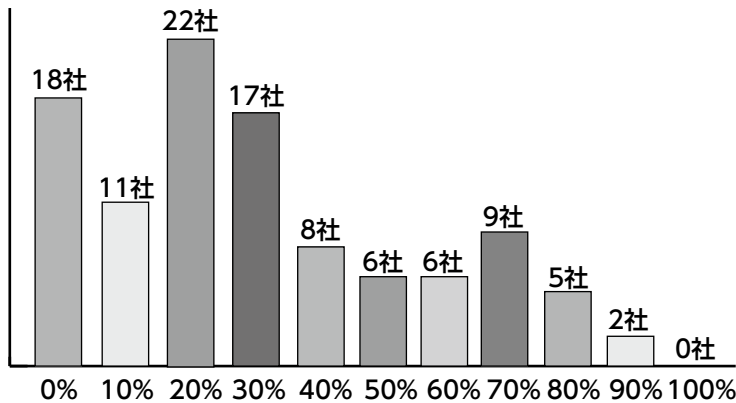
第2回緊急アンケート結果

新型コロナウイルス感染症、会員企業への影響は？

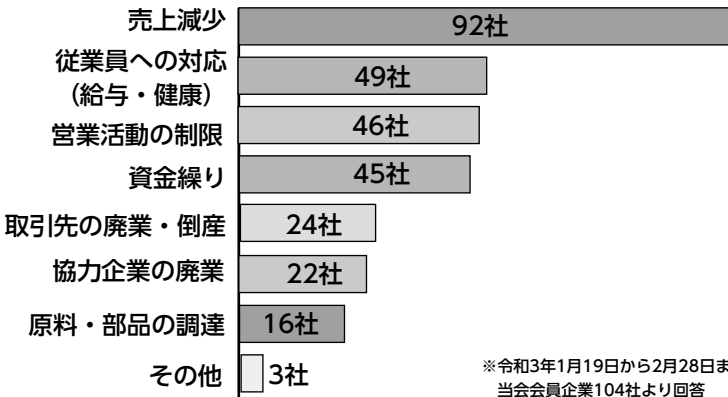
◆経営への影響について



◆売り上げ状況（減少率）について



◆影響について（複数回答可）



※令和3年1月19日から2月28日までに
当会会員企業104社より回答

大田工業連合会では、1月19日から2月28日にかけて第2回となる「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート」を実施し、計104社の会員企業から回答を得ました。まずはご回答いただいた企業の皆様に感謝を申し上げます。

本アンケートでは「経営への影響について」「新型コロナウイルス感染症に関する対策や取り組みについて」というテーマを中心に計7項目で調査を行いました。このうち、「経営への影響について」の項目は66%の企業が「経営に影響が生じている」、32%の企業が「今後影響が出る懸念がある」との回答でした。昨年5・6月に実施した第1回目のアンケートでは前者が62%、後者が38%の割合で、一定数の企業が懸念から実際の悪影響へとスライドしている状況が見られました。

右に示した全体の統計から「経営に影響が生じている」と回答した69社だけの具体的な影響（複数回答可）を抽出すると、9割を超える65社が売上減少を上げ、次いで、資金繰り（38社）、営業活動の制限（34社）、従業員への対応（32社）が上がっており、全体に比べて社内における要因よりも資金や販路の確保などに苦戦している傾向が見られました。そのほか「新型コロナウイルス感染症に関する対策や取り組みについて（複数回答可）」の項目では、半数以上の企業が「換気の徹底」「マスクや消毒液の調達方法を工夫」「ソーシャルディスタンスの徹底」を図っており、前回調査の結果に比べて飛沫拡散の防止と非接触へのこだわりが高まっていることがわかりました。

記述式で回答いただいた『行政や当会に対する要望等について』という項目には、具体的な声として「資格（ISO等）の維持に必要な経費の助成や、人材募集や教育に関する助成が必要」「他の企業の状況も分からず、経営のなげない相談ができないことが辛い」「先が見えない不安の中、事業活動が失われないうにより強い対策を望む」など具体的な要望を多数いただきました。今回いただいた貴重なご意見は、今後の行政等への要望や当会の事業運営に活かしてまいります。

その他の項目については後日、大田工業連合会のホームページでの公開を予定しております。また、本誌の4面にはコロナ禍における当会と大田区産業振興協会の声を掲載しておりますので、ぜひ併せてご一読ください。

第32回 大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 入賞製品・技術

《最優秀賞》

- 骨伝導技術を活用したヒアラブル聴覚機器（BoCo株式会社）

《優秀賞》

- 冠動脈バイパス手術における内視鏡下静脈グラフト採取術（EVH）訓練用シュミレータTAMAGOYAKI（イーピーエム株式会社）

- 独立電源式内照型LED掲示板 Tell Tell board（テック大洋工業株式会社）

《おおた福祉・医療賞》

- e-skin Sleep（株式会社Xenoma）

《おおた秀逸技能賞》

- 刃先位置制御付ポータブル切断・開先加工機「スピニングカッター」（株式会社カットランドジャパン）

《おおたECO推進賞》

- 改質ポリ乳酸PLAXのネイルチップ「ネイルコンタクト®」（株式会社AI《あい》）

《おおた地域貢献賞》

- 組み立て式フェイスシールド（株式会社城南村田）

《奨励賞》

- ウェアラブル2次元リングスキャナWRS-200（アイメックス株式会社）
- 「スマートカプラー」（遠隔操作可能な鉄道模型用連結器）（トキ・コーポレーション株式会社）

新製品・新技術コンクール 大田区優工場 表彰企業

例年「おおた工業フェア」内で表彰式を行っている両賞について、受賞された計14社をご紹介します。

令和2年度 大田区優工場 受賞企業

《総合部門賞》

- メイホー株式会社（再認定）

《人に優しい部門賞》

- 株式会社三輝（再認定）

《まちに優しい部門賞》

- ケイディケイ株式会社（再認定）

《認定工場》

- 有限会社今製作所
- 株式会社文星閣（再認定）

事業承継セミナー開催

若手経営者が実体験を語る

当会と大田区の主催によるオンライン事業承継セミナーが1月26日に開催された。ウェブ会議ツールを使って参加希望者にリアルタイムで配信するセミナーは当会では初の試みだ。実際に事業を引き継いだ区内の若手経営者2名をパネリストとして招き、両者の事業承継にも携わっている大井行政書士事務所の大井公美子氏を進行役に交えて、三者の経験に基づく濃密なトークが展開された。ここでは当日の様様を一部抜粋してお伝えする。

最新の調査によると、昨年の社長の平均年齢は統計以来初めて60歳を越えた。そうした中で中小企業を中心とした事業承継はますます社会課題になりつつあるが、後継者が決まっている企業は全体の12・5％に留まり、一方で52％以上の企業が今の代で廃業を予定しているというのが現実だ。

掘を埋めながら話を進めていったという。また、先代にも株主総会での拒否権が残る拒否権付種類株式での経営権譲渡を選んだことも、スムーズに承継を進める上で大きな要因になったそうだ。



権利や資産の引き継ぎ、承継後の経営改善、先代時代からの社員とのコミュニケーション術など、事業承継にまつわるポイントについて具体的な事例が挙げられた

「本や経営塾などで知識を蓄えながら少しずつロードマップを描いていった」という舟久保氏。同社で円滑に事業承継が行われた背景には、親世代と子世代がお互い腰を据えて前向きに話し合いの場を設けられたことにあるという。「父の中には『引き渡したら無くなる』という一種の悲壮感みたいなものもあっただろうし、父から進んで事業承継の話を切り出すのは難しいことだと考えていた」と現実的に話し合いに入るまでは相当な苦労もあったそうだが、母親や姉にも援護してもらい、少しずつ外

「完全に無計画で始まった承継だった」ため、まずは事業承継のプロである大井氏に相談した。土地建物は賃貸、厨房機器は既に償還期間を過ぎたものが大半だったため、ほぼ無料で引き継いだ。「最初はお互いに事業承継の意識がなく師匠と弟子のような関係から始まったので、後で現実的に事業承継していく中で先代との間に意識のズレが出てくることもあった」と承継時の苦労を語る輪島氏。譲り受けた店の経営は決して安泰といえるものではなかったが、蓮月と仕入れ先を統一した方が効率化できるところをあえて従来の仕入れ先を継続するなど、先代のやり方を尊重しながら少しずつ新しい方法を取り入れていった。先代には相談役的なポジションで今も店の営業を手伝ってもらっているが、承継から半年後に一時体調を崩したこともあった。輪島氏は「このコロナ禍を考えると、あの時に事業承継していなければ今ごろ閉店していたかもしれない。『にれの木』の釜飯は池

上の門前町で昭和の温もりが感じられる食べ物。地域に愛される味を残せて良かった」と語る。

両極端な承継を経験してきた両者ゆえに「舟久保さんの話を聞いて、事前準備をできていることがすごく大事だと思った」と述べた輪島氏。その一方で「大田区は事業承継のサポートが手厚い。プロに併走してもらいながら進んでいくのも一つの手法と思う」という大井氏のコメントに対して、「事業承継を経験した社長に話を聞いてみるのもいい。私もいろんな社長に助けてもらったけれど、大田区の社長に教えを請いて断られたことは一度もなかった」と舟久保氏が付け加えるなど、実になる情報が次々と飛び出した。ともに40代前半という若手経営者の本音の声は、実際に事業承継を考える人たちの貴重なアドバイスになったに違いない。



事業承継に精通し、円滑な司会進行だった大井氏



「地域の思い出の味を守っていきたい」と輪島氏



3代目として家業を引き継いだ舟久保氏

人権研修を支援します

「人権」は誰もが生まれながらにもつ権利であり、幸せに生きていくために、企業活動においても最大限尊重されなければなりません。

一方で、長時間労働による過労死、就職活動や職場におけるハラスメント問題、労働者に対する不当な差別など企業をめぐる人権問題がしばしばメディアで取り上げられています。

このような人権問題を起こさないためには日ごろから一人ひとりが人権について考え、理解することが大切です。

区ではさまざまな人権啓発冊子の配布や、人権問題に関するDVDの貸し出しなどを通じて企業の人権研修を支援しています。お気軽にお申し出ください。この機会に改めて「人権」について考えてみましょう。

大田区総務部人権・男女平等推進課

電話 5744-1148

FAX 5744-1556

屋内は原則禁煙です

～事業者の皆さま、受動喫煙防止のため、引き続きご対応をお願いいたします。～

改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の全面施行により、二人以上の人が出入りする施設（事業所等）は、原則屋内禁煙になっています。喫煙室を設置する場合、基準を満たす必要があり、施設と喫煙室の出入口に標識を掲示する義務があります。また、喫煙室には、20歳未満の方は立入禁止です。

詳細は、大田区ホームページまたは下記 QR コードよりご確認ください。

▶問合先 大田区健康づくり課健康づくり担当

電話 5744-1661 FAX 5744-1523



新入社員フォローアップ研修開催

9ヶ月の歩みを振り返り、明日につなげる



会場の受講者も仕切りの設置やソーシャルディスタンスの徹底等で入念な感染症対策を講じて開催した

当会と大田区の主催による2020年度新入社員フォローアップ研修が1月28日に大田区産業プラザP.i.Oで開催された。本研修は昨年7月に開催した新入社員研修の受講者向けに行うもの。「新入社員としてのビジネスマナー」と「ものづくりに関わる企業人としての自覚と誇り」という前回の教えを振り返り、研修後の実践度を確かめながらブラッシュアップすること

を主な目的としている。今回もアール&キャリア社から人材教育のプロを招き、約4時間にわたる講義を実施。なお、新型コロナウイルス感染症の対策として、全18名のうち14名をウェブ会議ツールを通じての遠隔参加とした。

冒頭には当会の西川恭子事務局長が挨拶に立ち、「本当に大変な時期に入社された皆さんは今もとても苦労されていると思います。でも、これ乗り越えればきつとすべてが自分の糧になると思いますので、ぜひ自信を持って進んでください」と述べて、前例なき一年を過ごす新入社員たちにエールを贈った。

前半の内容は入社時からの振り返りが中心。4名程度のグループに分かれ、まずは入社から今までの間に上手くいったこと、いかなかったことを発表した。会場のグループからは「上司に怒られる回数が減った」「ハキハキと話せるようになった」「ひとつひとつ先輩に確認しなくても書類やメールが出せるようになった」といった成長が聞けた一方で、「新しいことを教えてもらう時にプレッシャーを感じる」「社内のコミュニケーションが難しい」など新人らしい率直な課題も聞かれた。

続いて、4月から1月までの個人的な労働意欲の推移を示したモチベーションマップという表を用い、どのようなことがモチベーションに影響したのかを自己分析した。プラス面では「自分で製品を完成できた時の成功体験」「初めての出張」「初めてのボーナス」という事象が聞かれ、マイナス面では「機械を故障させてしまった」「遅刻して怒らされた」「他者と比べた時の劣等感」などの事象が上がった。



講師を3名招き、会場とオンライン双方の講義が滞りなく進むよう工夫

中盤では前回の研修の振り返り、CS（顧客満足）、仕事の原理原則、基本マナーの重要性、言葉遣い、電話対応の各ポイントを再確認した。その上で上手な傾聴法や用途に応じた質問の使い分けなどを学び、コミュニケーションスキルの強化を図った。そして終盤のトータルワークでは、3名ずつに分かれてプレゼンテーション対決を実施。3名のうち1人が判定員となり、判定員のニーズに対してどちらの方が魅力的なプレゼンができるかを競った。締めくくりには受講者全員が次の春に向けて2年目の抱負を発表。「主体性を持った社員になる」「仕事を任せられる社員になる」など前向きな目標が聞かれた。



去年の研修を活かしている様子が各受講者から窺えた

なお、講義の中では「コロナの影響で思い描いていた仕事ができず、モチベーションが下がった」という声もやはり上がった。昨今は同業者間の繋がりも従来より作りづらくなっている。今回のような機会には新入社員の単純なアウトプットの場になっただけではなく、近い目線の若手同士が課題や悩みを共有し、同世代から元気が得られる場にもなっていたと感じた。

Column

こうれんクロニクル

おおたこうれん新聞で
むかしを振り返る

当事務局がP.i.Oに移つてきてからおよそ四半世紀。事務室には密かに、開かずの扉になっている棚があった。そこを開けてみると、中から出てきたのはホコリをかぶった黒いかたまり……。局員が触れるのを躊躇う中、目を輝かせたのは他でもない舟久保利明会長だった。それは大田工連が発足した昭和34年から刊行されてきたこうれん新聞の束だったのだ。「すぐにスキャンだ！」という会長の号令のもと、我々は至急デジタルデータ化を行った。

谷川岳と思しき山の写真

が一面を飾る創刊号の冒頭には、大田工連の発足と本紙の創刊に寄せた当会の初代会長・後藤太郎氏の言葉が掲載されている。「工業の隆昌を図ることそれ自体に於いて我國の経済の発展、飛躍は約束されそれにより輸出を伸展せしめ外貨を獲得することにより平和日本、民主化されたる国家として世界市場に……と気骨ある言葉は高度成長期突入間もない頃の時代性を感じさせる。全8面ほぼ文字で埋め尽くされた紙面には現在も続く企業の名前が数多く見られる。そして工場探訪のコーナーには「日本唯一の拳銃工場」という刺激的な話題も。一方でゴルフや登山など趣味のコラムもあり、バラエティに富んでいる。

そんな大田区の工業と大田工連の記憶。データでお渡しすることもできるので、詳しくご覧になりたい方は工連事務局までご連絡ください。

昔のこうれん新聞をご覧になりたい方は
大田工連事務局までご連絡ください



昭和34年7月に発行された創刊号の一面

安心な国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の無担保・無保証人（信用保証協会の保証も不要）の融資制度です。

【限度額】2,000万円 【利率】1.21%
(2021年3月1日現在)

【融資対象】従業員20人以下（商業・サービス業5人以下）の法人・個人
【使 途】事業資金（運転・設備資金）
【返済期間】運転7年以内・設備10年以内
◆審査の結果、ご希望に沿えない場合があります。予めご了承ください。

大田区より当初3年間、支払利息の40%が補助されます。
この融資限度額及び返済期間の取扱いは、2021年3月31日、日本政策金融公庫受付分までとなります。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例

【限度額】1,000万円（別枠）

【利 率】当初3年間 0.31%（※通常利率から0.9%引き下げ）

◆特別利子補給制度により一定の要件を満たした方は当初3年間実質無利子となります。詳細は下記までお問い合わせください。

東京商工会議所 大田支部

☎ 3734-1621 大田区南蒲田 1-20-20（大田区産業プラザ5階）

会員非会員問わずご利用いただけます。

事務局から

第8回



この一年は当事務局もコロナ禍関連の各種対策に明け暮れた毎日でした。ただ、その中でも各種講座はもとより、新入社員セミナーや子どもたち対象の各種教室を対面の形で開催でき、感染症対策を講じた上で恒例の活動を継続できたことにわずかな安堵感を感じております。とりわけ、ものづくりに挑む子どもたちの笑顔は、マスク越しでも我々の救いになりました。

会員企業の皆様には、感染症関連の助成金、国や都、区の支援策に関する情報をお届けすることを第一に心がけてまいりました。2月には第2回のアンケートを行い、切実な声を数多くいただきました。事務局としても、できるだけ早くご質問ご意見にお答えしていくとともに、区等にもしっかりと皆様の声を届けてまいります。なかには「会合に出られず、経営の相談ができないことが辛い」というご意見もありました。私たちは感染症対策を万全にして皆さまをお待ちしています。どんなお話でも伺いますので、ぜひご相談にお越しく下さい。また、ご来所だけでなくリモートによるご相談もお気軽にお申し付けください。来年度も引き続き、皆様のお仕事の一助を担わせていただければ幸いです。

《特別取材》

Withコロナの一年と次の課題

産業団体の担当者に聞く

一面のアンケートでも厳しい影響が鮮明になったコロナ禍。ここでは区の産業振興を担う団体の二者に、この一年の取り組みと次年度の構想などを聞いた。

「オンライン商談に勝つプレゼン力向上に注力」

大田区産業振興協会・石川課長

感染症の不安が高まった昨年3月以降から、大田区産業振興協会にはアクリルパネルや区内医療機関で使うフェイスシールドなど、区内組織を中心に多数の要望が寄せられ、受発注あっせん相談窓口を通じて区内企業とのマッチングを行ってきた。「企業の皆様のご尽力でスピーディーな製造・納品が叶った」とものづくり・イノベーション推進課の石川里香課長は話す。その一方でオンラインによる研究開発フェアや商談会、セミナーを開催するなど、商談機会が失われないよう柔軟に対応してきた。また、コロナ関連製品に取り組む企業パンフレットを作成。企業の情報持ち込みもあり、現在は第4版まで更新を重ねた。

コロナ関連の相談は昨年前半に集中。年間では全体の2割弱だった。石川氏は「今後は美容関係の方が使うおしゃれなフェイスシールドのようなオーダーメイド性が高いもの、閉塞的な生活を快適にするものが求められるのではないか」と推測し、「個々のニーズに柔軟に対応できる大田の企業の強みを活かしたい」と語る。

また、オンライン活用を積極的に進める中で見えてきた重要な点は「企業各社の特徴や保有する技術・製品の効果的なプレゼン力」だという。

「対面なら30分かけてするような商談もオンラインだと15分くらいであっさり終わってしまう」というのは、既に多くの企業が経験していることだろう。リアル交流の場の必要性を認識しつつ今しばらくはオンラインによる商談や展示会が続くと予想。次年度は「プレゼン力向上のセミナーを行ったり、オンライン商談時に協会の職員等が“伴走”するような形を作っていきたい」と話す。

「研究開発案件や受発注相談は途切れずに来ています。より多くの皆様にご紹介したいと思っておりますので、ぜひ当協会への企業登録をお願いします」と石川氏。設備が増えればマッチングの可能性も高まるため、「既に登録をされている場合も、設備更新をした際はぜひお知らせください」と呼びかける。

「自社サイトやSNSの活用でも会員間の協力を」

大田工業連合会・舟久保会長

「やはり小さな企業ほど影響が大きいと感じた。幅広い領域に関わる大田区の工業ゆえに、影響が広範に及んでいることが改めて分かった」

今回のアンケート結果を受けて、当会の舟久保利明会長はそう語る。この一年、当会も各事業の中止・縮小を余儀なくされてきた。特に「懇親の場が減ってしまったことは残念だ」と会長。一方で、こうした状況下ゆえに自社サイトやSNSを活用した集客の重要性を改めて説き、「自治体にはホームページ作成のための支援もあるので、そうした制度をうまく活用して自社の技術をPRして欲しい。事務局でもサポートするので頼ってもらえたら」と述べる。そして「工連の会員の中にもウェブ活用で実績を出している企業がある。仲間回しのように、こうした面でも助け合えることがあるはず」と会員間の結束を改めて訴えた。

まだ先行きが見通せない状況の中、当会も今回のアンケート結果を重く受け止め、会員企業の皆様のために何ができるのかを常に考えながら柔軟な対応を図っていきたいと考えている。

「おおたこうれん新聞」令和3年1月4日発行号の1面で城南島連合会の所在地と電話番号に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。正しい情報は下記になります。

城南島連合会
所在地：大田区中央2-11-10
大森工業会館3階
電話番号：(03)6417-1132

大田工業連合会 2021年度スケジュール

5月 ■新入社員セミナー

5月12日(水)、13日(木)、14日(金)(平日3日間)9:30～16:30

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(1回目)

5月15日(土)、22日(土)、29日(土)(毎土曜日3日間) 9:15～16:30

■NCプログラミング初級講座(1回目)

5月22日(土)、29日(土)、6月5日(土)(毎土曜日3日間)9:15～16:30

●理事会(開催予定)

6月 ■CAD製図初級講座(Auto CAD2020)(1回目)

6月12日(土)、19日(土)、26日(土)(毎土曜日3日間) 9:15～16:30

●大田工連定時総会 6/4日(金) 18:30～

7月 ■産業のまち発見隊「親子工場見学会」(1回目、開催予定)

■次世代経営者育成セミナー(開催予定)

8月 ■産業のまち発見隊「親子工場見学会」(2回目、開催予定)

■夏休み親子ロボット作り教室 8月21日(土)、22日(日)(2日間)

9月 ■実践汎用旋盤・フライス盤講座(2回目)

8月28日(土)、9月4日(土)、11日(土)(毎土曜日3日間) 9:15～16:30

■やさしい図面の見方講座(城南職業能力開発センター大田校での開催)

9月11日(土)、18日(土)(毎土曜日2日間) 9:15～16:30

10月 ■CAD製図初級講座(Auto CAD 2020)(2回目)

10月9日(土)、16日(土)、23日(土)(毎土曜日3日間) 9:15～16:30

■秋のロボット工作教室(上旬開催予定)

■次世代経営者育成セミナー(開催予定)

●理事会(下旬開催予定)

●優良従業員表彰

11月 ■新入社員セミナー フォローアップ研修

11月26日(金) 13:00～17:00

■プログラミングロボット工作教室(11月または12月開催予定)

2022年

1月 ■東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会、大田工業連合会

3団体賀詞交歓会(式典のみ) 1月12日(水)

2月 ■やさしい図面の見方講座(開催予定、平日夜間5日間、日本工学院での開催)

■次世代経営者育成セミナー(開催予定)

その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させていただきます。